

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
45	東京造形大学	グラフィックデザイン史 B	渡部 千春	2	後期	金	14	9:00~10:40	東京造形大学	10

【到達目標】

時代背景とデザインのかかわりを理解できる。

【授業の概要】

デザインは常にその時代の社会を反映しています。イメージを中心とするグラフィックデザインは、ダイレクトに影響を受けるものです。グラフィックデザイン史 B ではグラフィックデザイン史 A より、少し踏みこんだ授業になります。社会全体を意識したモダニズム指向が一旦収束した 1960 年代以降からより個人をベースにした現代まではポストモダニズム、デジタルエイジのテーマ立てにし、また、音楽、ピクトグラムといった項目ごとに歴史を振り返り、時代背景や世相、技術などとグラフィック表現の関係について考えます。

【授業内容】

1. 授業ガイダンス(以下、授業内容は随時変更の可能性あり、あくまで目安です)
2. ユーフォリア／多幸福感の時代 1960 年代を中心に
3. ユーフォリア／多幸福感の時代 1960 年代を中心に
4. ポストモダニズム 1970 年代～1980 年代を中心に
5. デジタルエイジ 1980 年代～2000 年代を中心に
6. デジタルエイジ 1980 年代～2000 年代を中心に
7. たばこ周りのグラフィックの変遷
8. 交通周りのデザインの変遷 ロンドン交通局を中心に
9. 媒体としての紙の変遷
10. タイポグラフィーの歴史
11. ピクトグラム
12. 音楽とグラフィックの関わりの変遷
13. 音楽とグラフィックの関わりの変遷
14. まとめ

【成績評価方法】

全ての授業の出席を前提とするが、授業回数の 1/3 を超えて欠席した場合は、筆記試験の受験資格がない。受講態度(20%)、テスト(80%)を基準に総合的に評価する。

【教科書】

授業内で資料を配布する。

【参考書、教材等】

授業内で適宜紹介する。

※ この授業は、9/11(金)が初回です。